



# 2013年12月期 期末 決算説明会

2014年 2月 14日  
株式会社 SUMCO  
(コード番号:3436)

For All Innovation

1

## 見通しに関する注意事項



本資料は一般の株主及び投資家に対する情報提供を目的に作成されたものであり、いかなる法域においても、当社が発行する証券の勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報は、本日現在当社が利用可能な情報及び一定の前提又は仮定に基づくものであり、実際の業績等は、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報と大きく異なる可能性があります。



- 総括
- 市場環境
- 2013年度期末 決算概要(連結)
  1. 2013年度 業績
  2. 営業利益増減分析
  3. バランス・シート
  4. キャッシュ・フロー
  5. 損益分岐点売上高
- 2014年度上期 業績予想(連結)
  1. 業績予想
  2. 営業利益増減分析
- 参考資料



## 総括・市場環境

取締役社長 橋本 眞幸

## ■ 2013年度業績及び配当

2013年度の普通株式期末配当は1円/株、2014年度は未定

(金額単位: 億円)	第13期 <12/1期>	第14期 <13/1期>	第15期(11ヶ月) <13/12期>
売上高	2,471	2,066	1,851
営業利益	9	132	178
経常利益	▲56	94	70
当期純利益	▲843	34	7
1株当たり配当(円/株)	0	2	1
配当総額	0	5	2
連結配当性向(%) (注)	—	22.4%	—

(注) 優先株式を除く。なお、第13期及び第15期は1株当たり連結当期純利益がマイナスのため記載しておりません。

## ■ 2014年度上期予想

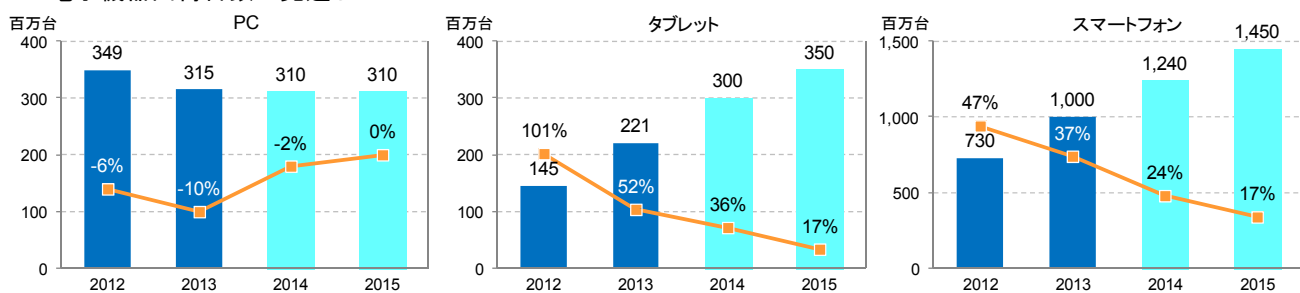
(金額単位: 億円)	2013年度 上期実績	2014年度 上期予想	増減
売上高	1,006	1,020	+14
営業利益	118	90	▲28
経常利益	37	65	+28
純利益	1	45	+44

For All Innovation

# 2. 市場環境

## PCの減少幅縮小、スマホ・タブレット需要増加継続

### ■ 電子機器出荷台数の見通し



### PC

- ・ 2013年後半で、底打ち感がでてきた。サーバーやデータセンター需要は拡大
- ・ 2013年の出荷台数は前年比10%減少、2014年は微減にとどまる

### タブレット

- ・ 2013年の出荷台数は前年比50%以上の拡大、2014年は3億台程度へ増加見通し

### スマートフォン

- ・ 2013年の出荷台数は10億台を突破、2014年も12億台を超える見通し
- ・ ハイエンド、ローエンドの2極化が進み、ハイエンドでは大画面化、メモリ性能の向上
- ・ ローエンドでは新興国中心に台数の拡大による電源、アナログ等の需要増加

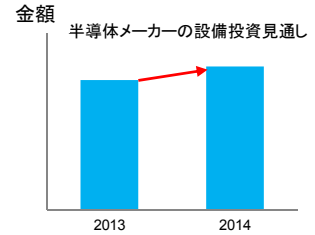
### その他(パワーデバイス関連)

- ・ 車載、電源関連、省エネに加え新興国のインフラ需要の拡大

For All Innovation

## 1. 全体動向

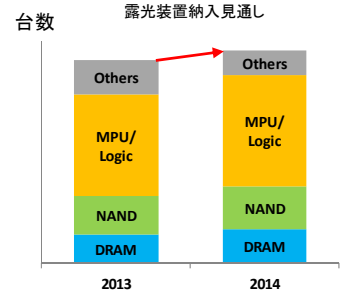
- ・昨年後半に始まったファウンドリーの生産調整は一段落し徐々に回復が進んでいる
- ・半導体の設備投資は活発化してきている
- ・微細化の進行により、ウェーハの先端製品需要比率が高まってきている



## 2. 300mm

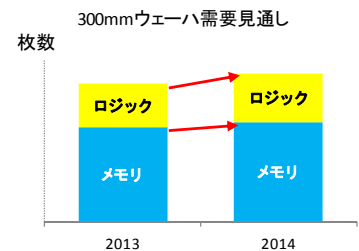
### ✓ロジック(エピタキシャルウェーハ)

- ・中国向けスマホ需要に牽引され、ロジック(ファウンドリー)が回復
- ・情報処理量の飛躍的な拡大によりサーバー需要の増大
- ・PCは底打ち感が出始めた、ウェーハ需要の下支え



### ✓メモリ(ポリッシュドウェーハ)

- ・携帯情報端末やビッグデータ・クラウドの需要に支えられ、メモリ需要は増加



## 3. 小口径

- ・スマホ向け電源周りの需要が強い
- ・旺盛な世界自動車需要と環境対応を受けて車載需要増加

**For All Innovation**

出典: 各種情報を基にSUMCO推定

7

# 微細化の状況(2013年~2015年)

	2013	2014	2015
DRAM	30nm	25nm	20nm
NAND	20nm	16nm	3D-NAND
MPU	22nm (FinFET)	14nm (FinFET)	
Foundry	28nm	20nm	14/16nm (FinFET)

メモリ：増加する情報量を記憶するため、大容量化進展

- ✓DRAM 20nm世代へ
- ✓NAND 16nm世代へ、3D-NANDの出現(2Dとのコスト差が課題)

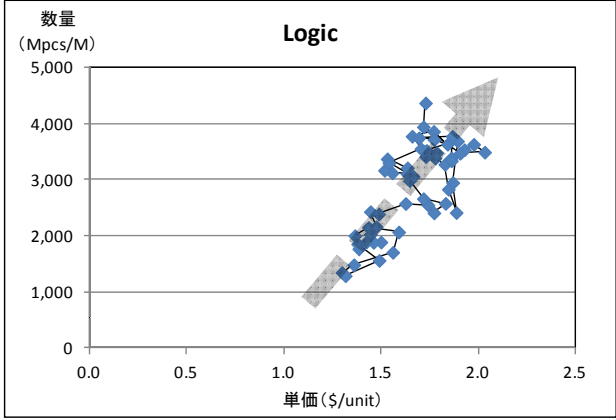
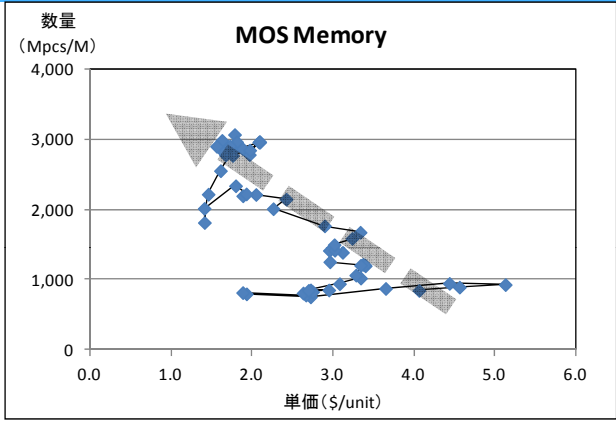
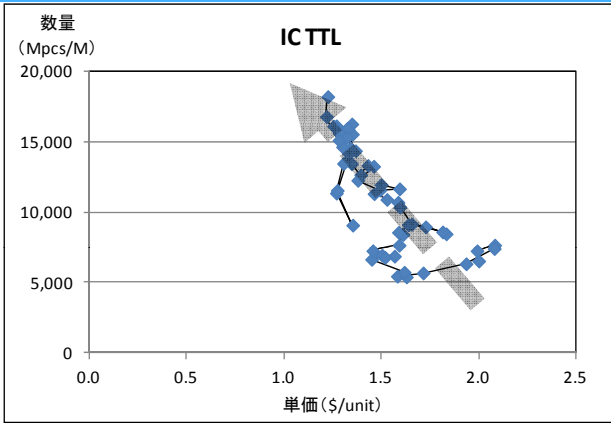
ロジック：大容量の情報を処理するため、高性能化・低消費電力化

- ✓MPU 14nm世代(FinFET)へ
- ✓Logic (Foundry)  
スマホ・タブレット用のプロセッサ需要に向け、20nm世代へ  
14nm/16nm世代(FinFET) 2015年量産開始  
従来品も、ローエンドスマホ向けに拡大

**For All Innovation**

8

# メモリとロジックの数量成長

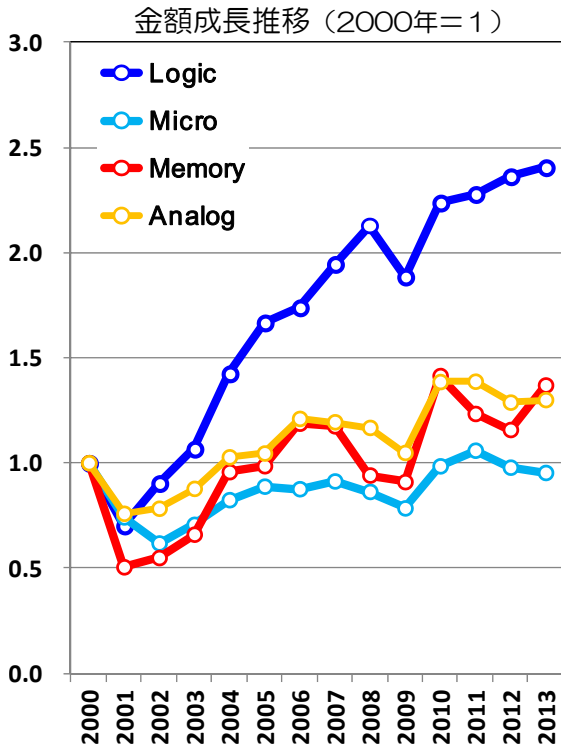
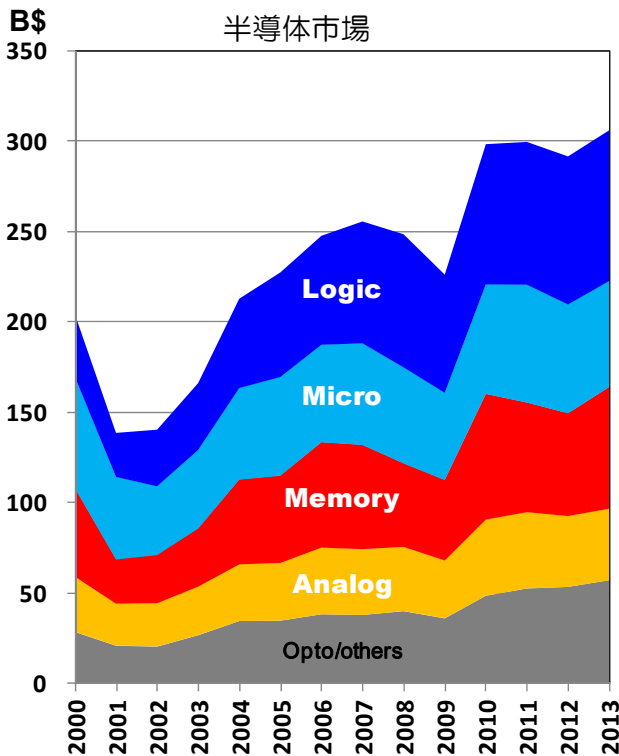


WSTS (2000.1Q~2013.3Q) を基にSUMCO作成

	価格下落率 (年率)	数量成長率 (年率)
IC TTL	Δ4.0%	+6.9%
Memory	Δ6.7%	+9.4%
Logic	+1.4%	+5.6%

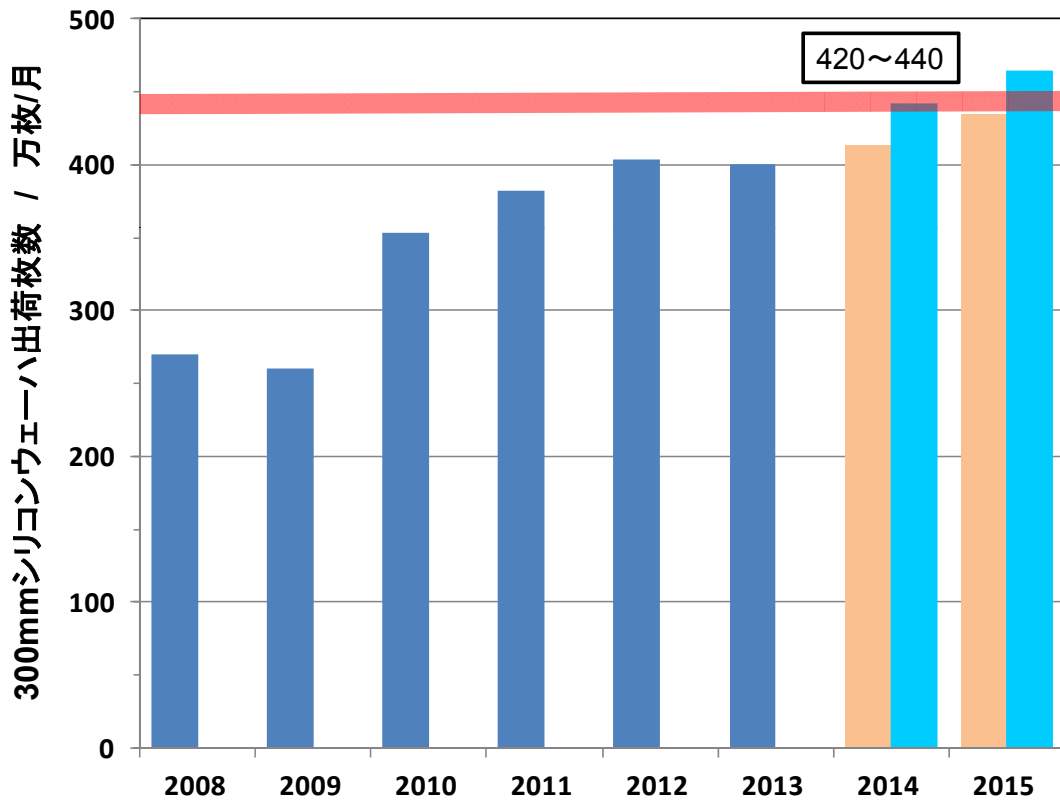
For All Innovation

# 半導体市場の推移と成長率 エピソードを使用するロジックの伸長



出典: WSTSのデータを基にSUMCO作成

For All Innovation



For All Innovation

出典: SEMI統計資料を基にSUMCO推定

## 2013年度 期末決算概要(連結)

取締役副社長 瀧井 道治

For All Innovation

# 1. 2013年度 業績(連結)

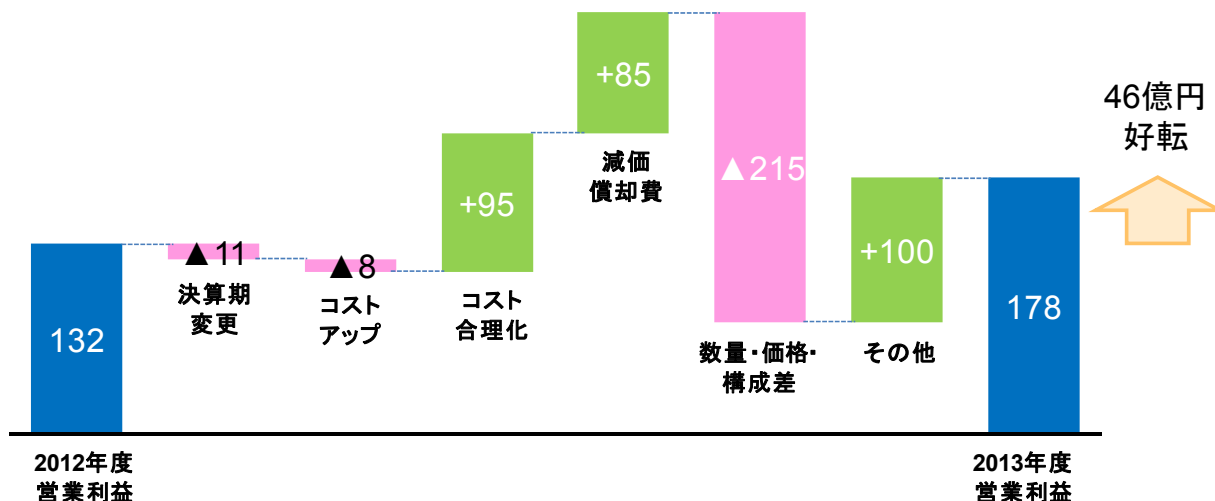
(金額単位: 億円)	2012年度	2013年度 (注1)					増減
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	
売上高	2,066	466	540	467	378	1,851	▲215
営業利益	132	41	77	37	23	178	+46
営業外損益	▲38	▲29	▲52	▲18	▲9	▲108	▲70
経常利益	94	12	25	19	14	70	▲24
特別損益	(注2) ▲55	▲1	▲20	▲5	▲0	(注3) ▲26	+29
税金費用等	▲5	▲6	▲9	▲12	▲10	▲37	▲32
純利益	34	5	▲4	2	4	7	▲27
設備投資額(検収ベース)	122	15	27	17	13	72	▲50
減価償却費	323	55	56	56	43	210	▲113
EBITDA (注4)	467	99	137	97	68	401	▲66
為替レート(円/US\$)	80.1	92.7	99.2	98.2	100.6	97.1	+17.0

(注1) 2013年度は決算期変更により、国内11ヶ月・海外12ヶ月決算(4Qは国内2ヶ月、海外3ヶ月)  
 (注2) ソーラー用シリコンウェーハ事業に係る受取補償金及び事業構造改善費用  
 (注3) 事業構造改善費用(生野工場・伊万里150mm工場閉鎖に伴う退職特別加算金等)  
 (注4) EBITDA=営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額

# 2. 営業利益増減分析(2012年度→2013年度)

(金額単位: 億円)	2012年度 (12ヶ月)	2013年度 (11ヶ月)	増減
売上高	2,066	1,851	▲215
営業利益	132	178	+46
為替(円/US\$)	80.1	97.1	+17.0

【営業利益増減分析】 (注) 昨年実績から1ヶ月分を控除し、11ヶ月ベースで分析を実施



### 3. バランス・シート(連結)

(金額単位: 億円)	2013年 1月末	2013年 12月末	増減
現預金等	721	628	▲93
棚卸資産	1,130	1,426	+296
有形・無形固定資産	1,972	1,896	▲76
繰延税金資産	60	57	▲3
その他	1,050	978	▲72
<b>総資産</b>	<b>4,933</b>	<b>4,985</b>	<b>+52</b>
有利子負債	2,399	2,388	▲11
その他	731	649	▲82
<b>負債</b>	<b>3,130</b>	<b>3,037</b>	<b>▲93</b>
資本金	1,366	1,366	-
資本剰余金	156	156	-
利益剰余金	168	159	▲9
その他	113	267	+154
<b>純資産</b>	<b>1,803</b>	<b>1,948</b>	<b>+145</b>
自己資本比率	32.2%	33.7%	+1.5%
1株当たり純資産額(円)	436.9	473.4	+36.5
D/E レシオ(グロス)	1.5	1.4	▲0.1
D/E レシオ(ネット)	1.1	1.0	▲0.1

For All Innovation

15

### 4. キャッシュ・フロー(連結)

(金額単位: 億円)	2013年度
税引前純利益	43
減価償却費	210
小計	253
棚卸資産増減	▲235
その他	5
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>23</b>
設備投資(検収ベース)	▲72
設備債務増減他	▲15
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>▲87</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>▲64</b>

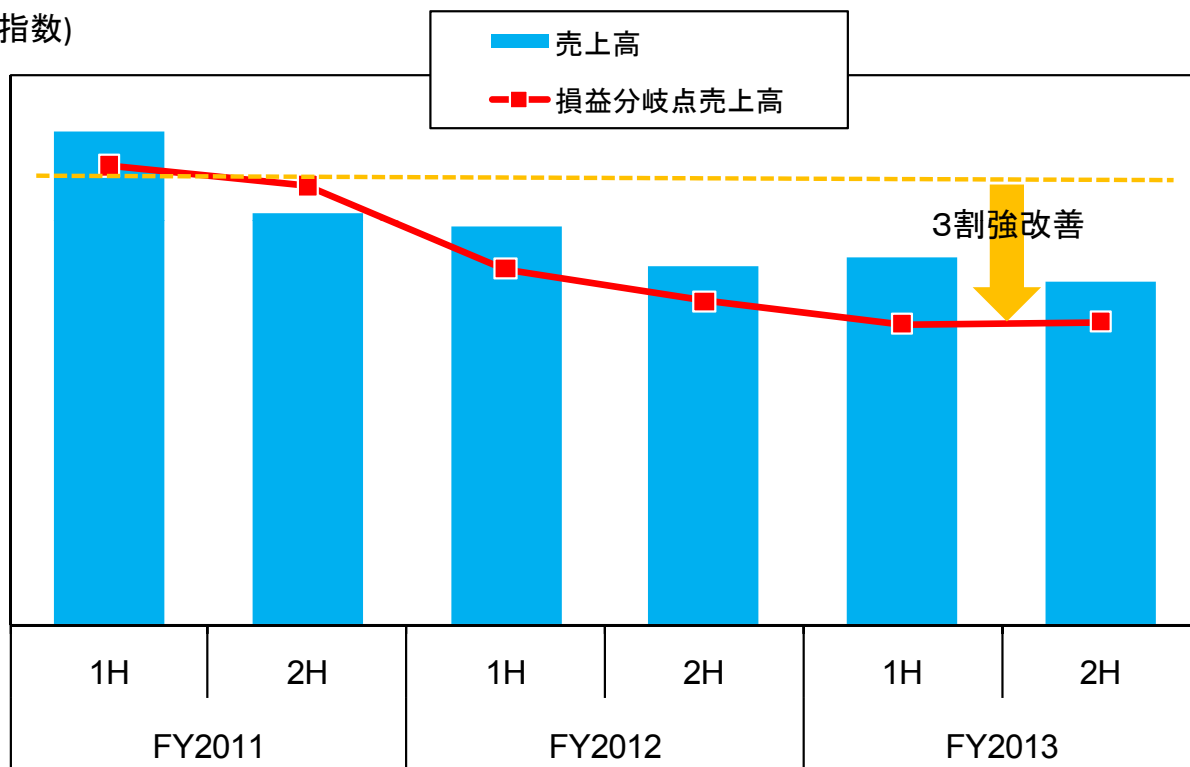
For All Innovation

16



## 5. 損益分岐点売上高

(指数)



For All Innovation

## 2014年度上期 業績予想(連結)

For All Innovation

# 1. 2014年度上期 業績予想(連結)

(金額単位: 億円)	2013年度		2014年度	(参考) 年間予想
	上期実績 (2月~7月)	下期実績(注1) (8月~12月)	上期予想 (1月~6月)	
売上高	1,006	845	1,020	
営業利益	118	60	90	
営業外損益	▲81	▲27	▲25	
経常利益	37	33	65	
特別損益(注2)	▲21	▲5	-	
税金費用等	▲15	▲22	▲20	
純利益	1	6	45	
設備投資額(検収ベース)	42	30	50	(120)
減価償却費	111	99	95	(200)
EBITDA(注3)	236	165	190	
為替レート(円/US\$)	95.9	99.1	103.0	

(注1) 2013年度下期は決算期変更に伴い、国内5ヶ月・海外6ヶ月決算

(注2) 事業構造改善費用(退職特別加算金等)

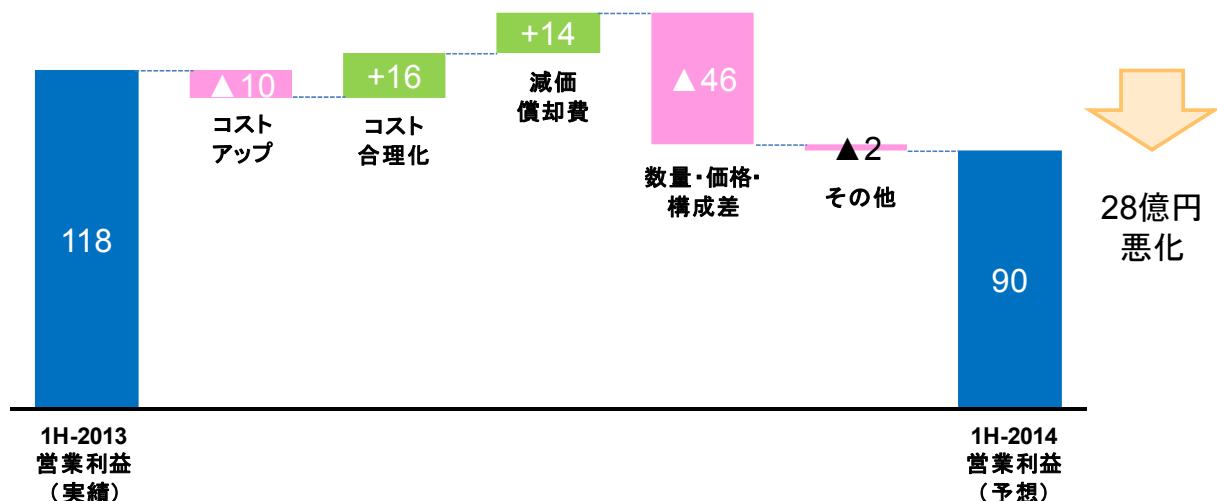
(注3) EBITDA=営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額

For All Innovation

# 2. 営業利益増減分析 (2013年度上期実績→2014年度上期予想)

(金額単位: 億円)	2013上 実績 (2~7月)	2014上 予想 (1~6月)	増減
売上高	1,006	1,020	+14
営業利益	118	90	▲28
為替(円/US\$)	95.9	103.0	+7.1

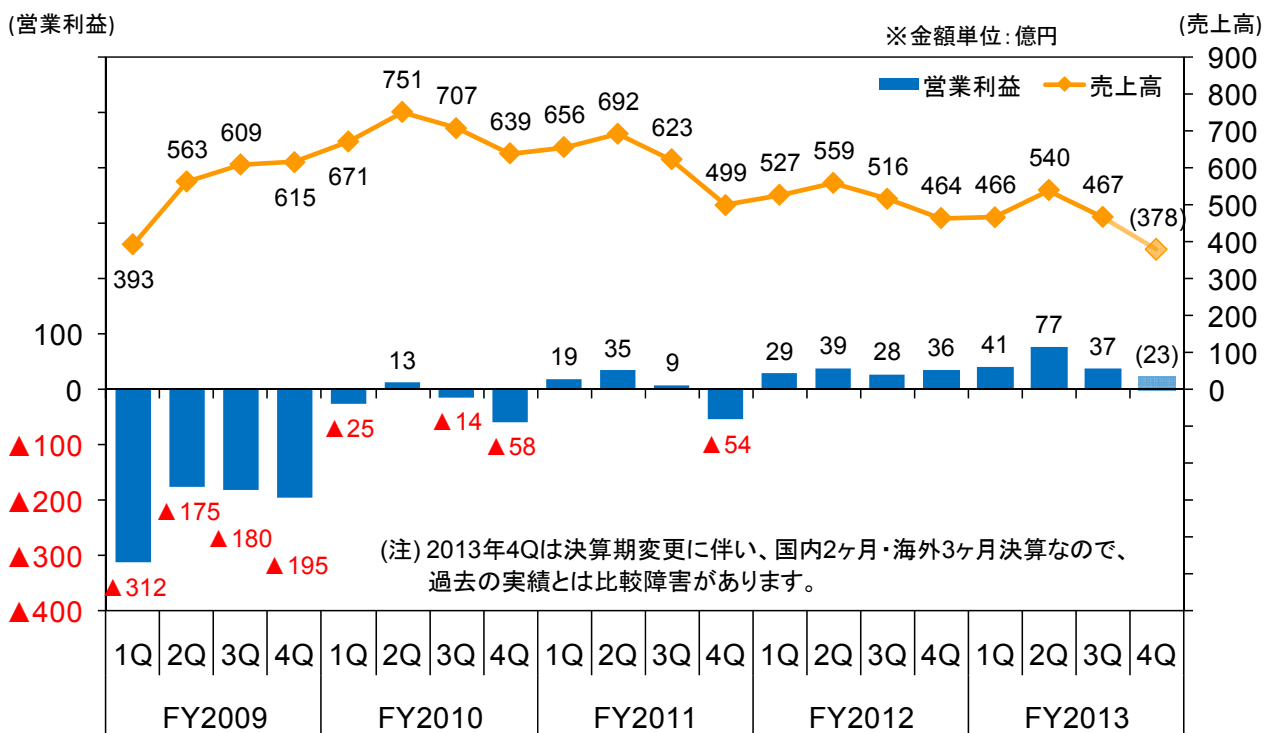
【営業利益増減分析】



For All Innovation

# 参考資料

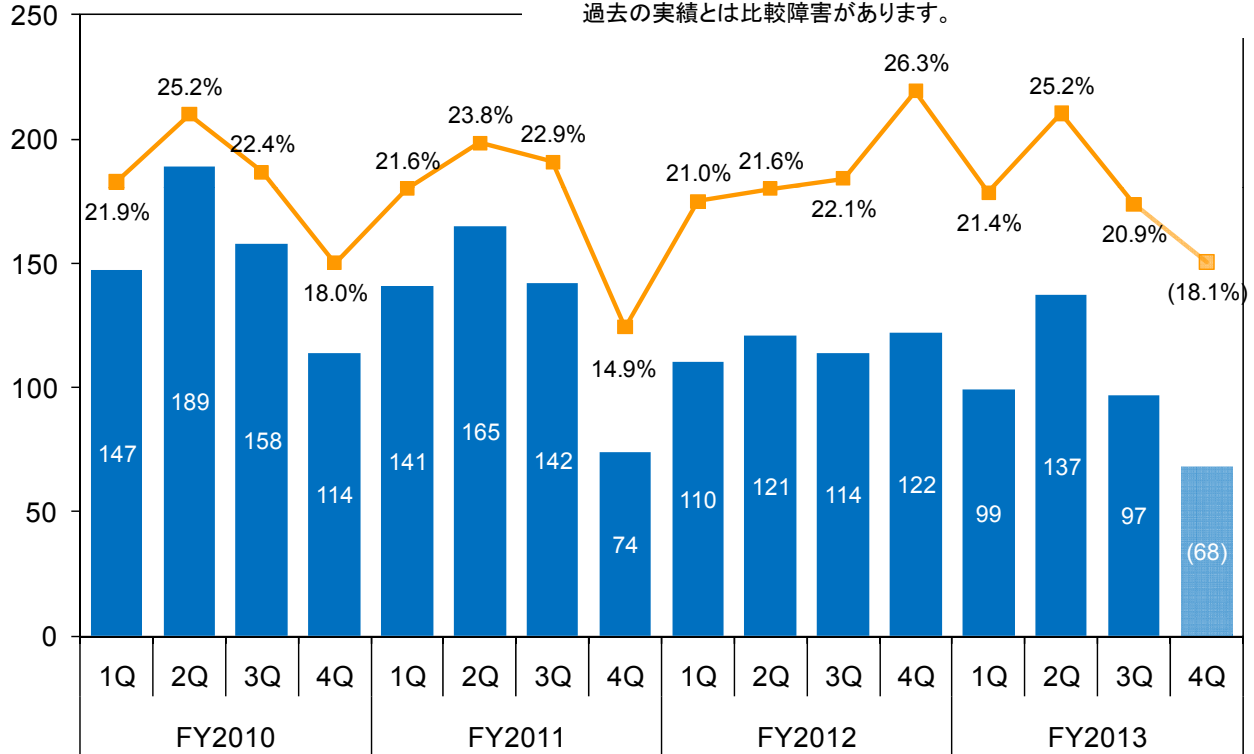
## 参考資料：四半期業績推移(連結)



# 参考資料: EBITDA (償却前営業利益)



(億円) ■ EBITDA ■ EBITDAマージン (注) 2013年4Qは決算期変更に伴い、国内2ヶ月・海外3ヶ月決算なので、過去の実績とは比較障害があります。



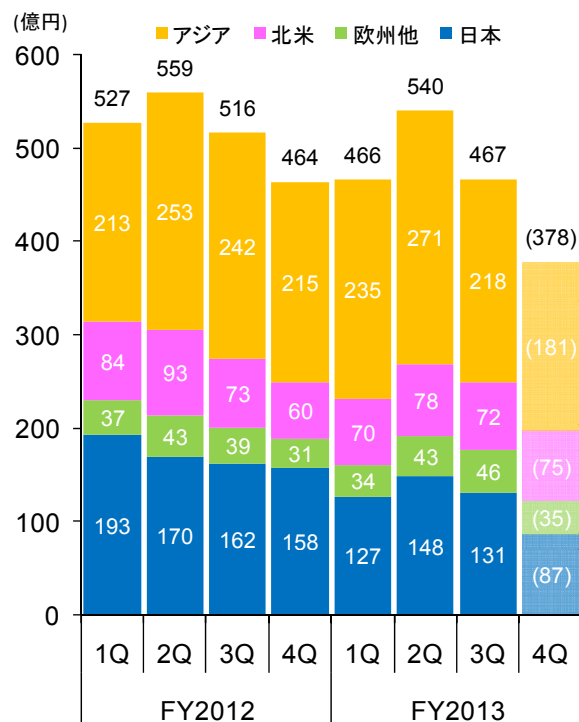
For All Innovation

(注) EBITDA = 営業利益 + 営業内減価償却費 + のれん償却額

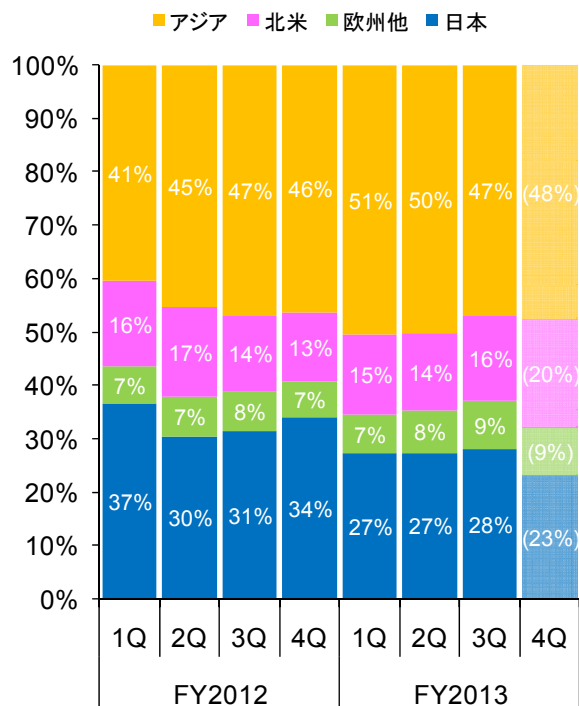
# 参考資料: 売上構成



## 地域別売上高



## 地域別売上比率



For All Innovation

(注) 2013年4Qは決算期変更に伴い、国内2ヶ月・海外3ヶ月決算なので、過去の実績とは比較障害があります。



URL <http://www.sumcosi.com/>

**For All Innovation**

A decorative graphic consisting of several curved, overlapping lines in various shades of blue, starting from the bottom left and curving upwards and to the right towards the top right corner of the page.